

町田志樹(著)

町田志樹の聴いて覚える起始停止

評者 吉田一也

人間総合科学大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻

本書の著者である町田氏は、専門職の養成校で学生教育に従事しながら、解剖学の卒後教育をコンセプトとした講習会「いまさら聞けない解剖学」をセラピスト向けに開催するなど多方面で活躍している。また、順天堂大学大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学講座の協力研究員として解剖学領域の最新の知見にも精通する研究者でもある。そんな町田氏が執筆した本書は、これまでの卒前卒後教育の経験が集約した一冊と言える。

本書を読んでまず感じたことは、学生教育をずっとされてきた先生のお人柄。これまでに筋の起始停止を解説した本にはみられなかった工夫や試みがされており、初学者でも理解しやすいと感じた。私が読んでいて感じた本書のお薦めするポイントを下記に3つ挙げる。

- ① 学生は国家試験対策に最適！セラピストにはミニ知識も楽しめる！
- ② スマホでリスニング動画も視聴できるので通学・通勤時にも便利！
- ③ 付録「支配神経別の筋の起始・停止・作用一覧表」はセラピスト好み！

1つ目は、国家試験に対応するために綿密に考えられた本であること。筋の起始停止や支配神経(髄節)の記載は、参考書によって異なるところが多く、混乱している学生も多い。本書では、解剖学に精通し、多くのセラピストへの卒後教育も行っている著者が精査して仕上げている。さらに、本書には「ミニ知識」と題して、国家試験はもちろんのこと、臨床現場でも活用できる基礎知識が掲載されている。単に起始停止、支配神経などを覚えるだけではなく、臨床応用のヒントとしても「ミニ知識」は役立つ。

2つ目は、本書のタイトルにもあるように「聴いて覚える」工夫がなされていること。QRコードを読み込むだけで、ネット環境があればスマホなどで

もリスニング動画を視聴することができ、学習する場所を選ばない、持ち運びにも便利な大きさ・重さなので、カバンに入れてもかさばらないのも非常にありがたい。高校生のときに大活躍した赤色の暗記シートも懐かしい。

3つ目は、付録が充実していること。付録として「筋の英名・読み方一覧表」、「筋の起始・停止・支配神経・作用一覧表」、「横断面図」が収録されているのだが、私は「神経支配別 筋の起始・停止・作用一覧表」が気に入っている。これまでの解剖書にはなかった一覧表だと思う。暗記した筋の起始停止などに加え、神経支配別に整理することで臨臨床的な見識も深まる。

最後になるが、本書は国家資格取得を目指す養成校の学生、医療・介護分野で活躍するセラピストはもちろんのこと、筋に興味がある一般の方にもお薦めしたい一冊である。多くの筋について学びたい方々の手に本書が届くことを切に願う。



A5判・128頁
定価：本体2,000円＋税
三輪書店刊，2019年